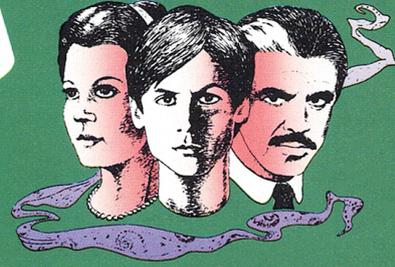


薄幸の天才ダンサー/その愛と伝説の生涯

ニジンスキー



THE TRUE STORY
NIJINSKY

その舞台生命わずか5年、
野獣のように跳躍し、
狂気の中で「神の子」と称した
踊るための天才ニジンスキー。

アラン・ベイン
ALAN BATES

ジョルジュ・デ・ラ・ペーニャ
GEORGE DE LA PEÑA

レスリー・ブラウン
LESLIE BROWNE

製作総指揮
ハリー・サルツマン
HARRY SALTZMAN

監督
ハーバート・ロス(愛と喝采の日々)
HERBERT ROSS

製作
ノラ・ケイ/スタンリー・オトゥール
NORA KAY/STANLEY O'TOOLE

撮影
ダグラス・スローカム
DOUGLAS SLOCOMBE

音楽指揮
ジョン・ラングベリー
JOHN LANCHBERY

演奏
ロサンゼルス・フィルハーモニー
THE LOS ANGELES PHILHARMONIC

CARL MARIA VON WEBER<バラの精>

CLAUDE DEBUSSY<遊戯><牧神の午後>

NIKOLAI RIMSKY-KORSAKOV<シエラガード>

ROBERT SCHUMANN<カルナバル>

IGOR STRAVINSKY<春の祭典><ペトルウシユカ>

振付
ケネス・マクミラン
KENNETH MACMILLAN

ロンドン・フェスティバル・バレエ団総出演

カラー作品/パラマウント映画/CIC配給



NIJINSKY

自らを

「神の道化師」「神の子」と呼んだ

不世出のバレエ・ダンサー=ワスラフ・ニジンスキー!

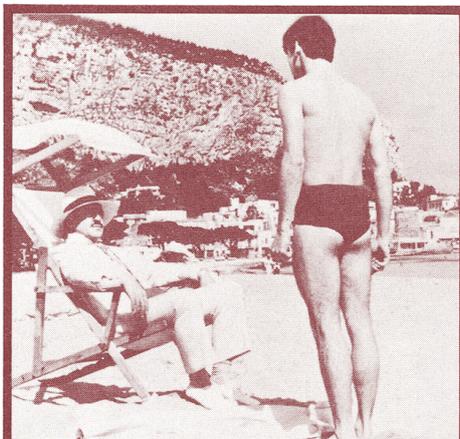
19世紀末から20世紀へと、いう時代の変革の中に生き、魂と肉体を通してバレエの真髄を極め、そして狂気の中に神を見出した不世出のバレエ・ダンサー「ワスラフ・ニジンスキー」。現代の花形ダンサー、ルドルフ・ヌレエフやジョルジュ・ドンに多大な影響を及ぼしている彼の業績は、その見事な踊りと共になお語り継がれているが、この映画はニジンスキーの1912年3月から1913年11月までの20ヶ月の足跡をほぼ忠実に追ったものである。1912年2月、ブダペスト。ロシア・バレエ団の主宰者セルゲイ・ディアギレフ（アラン・ベイツ）が、病床に伏しているニジンスキー（ジョルジュ・デ・ラ・ペーニャ）の許にパリから帰ってきた。芸術を愛し、美しい少年を愛するディアギレフの疵護のもとニジンスキーの名声は今まさにヨーロッパに広がるうとしていた。5月のパリ公演をひかえ舞台稽古をするニジンスキーに熱い視線を注ぐ若い娘がいた。ロモラ・ド・プルスキー（レスリー・ブラウン）である。

5月、パリのシャトレ座。ニジンスキー振付の『牧神の午後』が初演され、その革新的な振付と踊りに観客は酔った。が、牧神との魂の合体に陶酔した彼は、ニンフのヴェールを相手に幻想的なセックスをしてしまった。ニジンスキーは常に新しいものに挑戦していた。当時、ストラヴィンスキーが作曲したばかりの『春の祭典』を振り付けたこともその顕れである。1年後、パリのシャンゼリゼ劇場で初演したが観客には全く受け入れられなかった。そしてこの間にロモラの入団が決定した。この出来事がニジンスキーの運命を狂わせてしまうのだ。彼の天性の才能や芸術への愛、そして未成熟でイノセントな魅力が、彼を育て熱愛したディアギレフとロモラとの

凄絶なる三角関係によってついに破滅することになるのである。バレエ団は南米公演をすることとなったが、ディアギレフは同行せずニジンスキーは団員とともに南米へ向けて出発した。船の長旅はロモラにとってはニジンスキーに近づく絶好のチャンス。——その時、ディアギレフが他のダンサーを探しに行つたことを聞いて錯乱した彼はロモラに異性への欲望を感じた。南米で結婚したことを知つたディアギレフはニジンスキーに最後通牒を送り、そのため彼の精神錯乱は決定的なものとなった……。

現在の世界バレエ界に絶大な影響を及ぼしたディアギレフとニジンスキー——かつてケン・ラッセル監督がヌレエフ主演で作りうとして果たし得なかったこの2人の物語を実現したのは『愛と喝采の日々』のハーバート・ロス監督である。ニジンスキーにはアメリカンバレエ・シアターのジョルジュ・デ・ラ・ペーニャ、妻ロモラに『愛と喝采』のレスリー・ブラウン、ディアギレフには円熟した味わいをもつアラン・ベイツが怪演している。

（上映時間2時間9分）



アラン・ベイツ
レスリー・ブラウン
ジョルジュ・デ・ラ・ペーニャ
製作 ノラ・ケイ&スタンリー・オトゥール
製作総指揮 ハリー・サルツマン
監督 ハーバート・ロス
パラマウント映画
CIC配給
パナビジョン・メトロカラー



近日ロードショー!

前売券発売中

■一般 1,200円 (当日1500円の処)
■学生 1,000円 (当 高 大 生 1300円 の 処 / 日 中 学 生 1100円 の 処)

同時上映

—決闘者—
デュエリスト

上映時間	デュエリスト	12:55	5:05
日祝・平日共	ニジンスキー	10:30	2:40 6:50

広小路・伏見 231-2310

三リオン座

地下鉄伏見駅7番出口西100m

本チラシ
ご持参の方は
窓口料金より
200円 割引
致します。
(3名様まで有効)